

2003.12

● 調査時点 12月末時点  
 ● 回収期間 平成16年1月1日～15日  
 ● 対象企業 1,000社  
 ● 回答企業数 486社  
 製造業225社 建設業49社 卸売業61社  
 小売業87社 サービス業64社

※DI (Diffusion Index) 値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値である。

### 全業種

#### ■ 対前年同月比

業況対前年同月比～良化13.8  
 悪化41.8 DI値-28.0

#### 前月との比較～横ばい

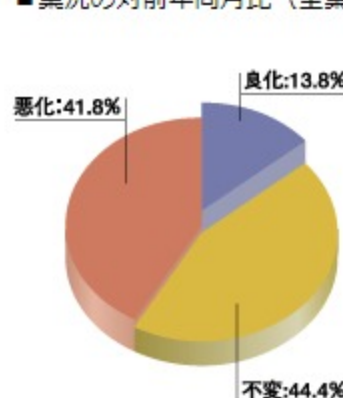
業況・売上・採算・資金繰りともにほぼ横ばいとなった。平成14年1月以降、わずかながら改善の動きを示してきたが、先月に引き続き横ばいとなった。建設業とサービス業でわずかに業況が改善を示したが、小売業は悪化となった。

#### ■ 3か月先見通し

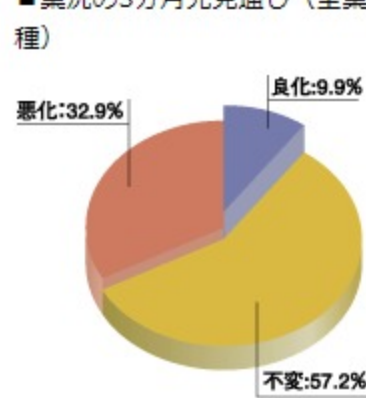
業況～良化9.9  
 悪化32.9 DI値-23.0

12月末時点からみた3か月先見通しは、業況・売上・採算で横ばいを見通している。製造業・卸売業・サービス業でわずかながら改善を見通すが、建設業では業況・売上・採算・資金繰りの全項目で悪化を見通す結果となった。

#### ■ 業況の対前年同月比（全業種）

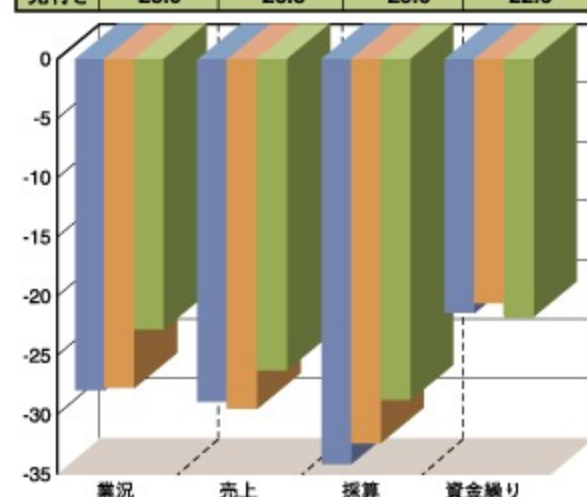


#### ■ 業況の3か月先見通し（全業種）

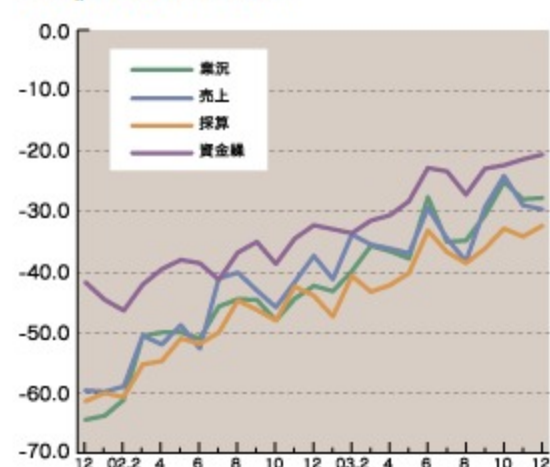


#### ■ 主要4項目DI値（全業種）

	業況	売上	採算	資金繰り
11月	-28.2	-29.2	-34.5	-21.6
12月	-28.0	-29.8	-32.7	-20.8
先行き	-23.0	-26.5	-29.0	-22.0

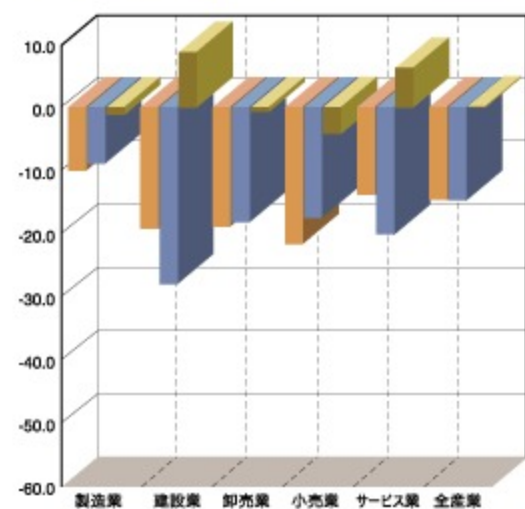


#### ■ DI値の推移（全業種）

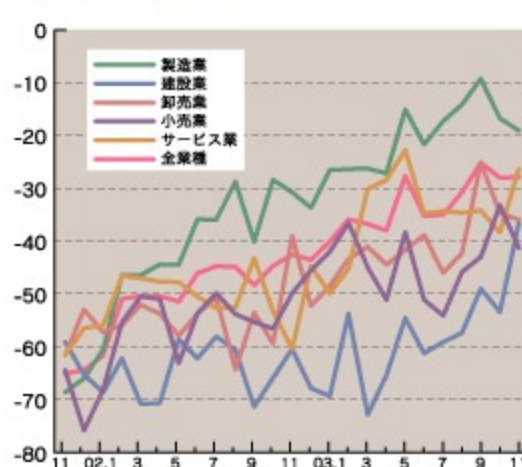


#### ■ 業況DI値の前年比

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
今月	-19.2	-36.8	-36.1	-41.4	-26.5	-28.0
前月	-17.0	-53.5	-34.8	-33.4	-38.5	-28.2
差異	-2.2	16.7	-1.3	-8.0	12.0	0.2

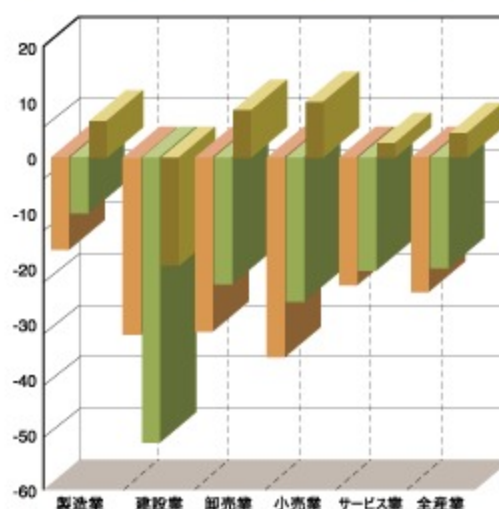


#### ■ 業種別業況の推移



#### ■ 業況DI値の先行き

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
前年比	-19.2	-36.8	-36.1	-41.4	-26.5	-28.0
先行き	-11.6	-59.2	-26.3	-29.9	-23.5	-23.0
差異	7.6	-22.4	9.8	11.5	3.0	5.0



### 製造業

#### ■ 対前年同月比

業況対前年同月比～良化16.4  
 悪化35.6 DI値-19.2

#### 前月との比較～2.2ポイントわずかに悪化

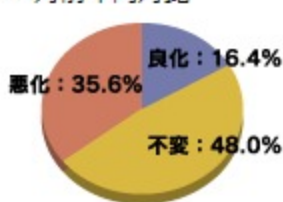
業況・売上・資金繰りの項目で若干の悪化を示し、このところ改善の動きをみせていた製造業でも、引き続き足踏みとなっている。小分類で見ると、「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「精密機器」では業況DI値がプラスとなっているが、先月まで業況DI値がプラスであった「食料品」、「電気機器」はマイナスに転じる悪化を示した。

#### ■ 3か月先見通し

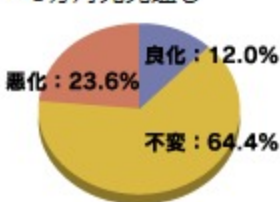
業況～良化12.0  
 悪化23.6 DI値-11.6

12月末時点からみた3か月先見通しは、業況・売上でわずかながら改善を見通している。小分類で見ると、「食料品」、「縫製」、「一般機械」で改善を見通す企業が増加し、業況の改善を見通している。

#### ■ 対前年同月比



#### ■ 3か月先見通し



#### ■ DI値の推移（製造業）



#### 自由意見より

- 主に中国製品のシェア増加の影響で悪化。 【窯業・土石】
- 過去1年半に渡って、鋼材価格が上昇したが、上昇分を客先に転嫁できず採算の悪化を招いている。 【金属】
- 協力工場（特に加工業者）の受入量不足のため、業者を探しても見つからず、新たな悩みとなる。 【一般機械】
- 大手決算期のため、駆け込み需要が有ると思われる。 【電気機器】
- デジタルIT産業はまだまだ好調のようだ。 【精密機器】
- 各メーカーとも短期間発注が多いのでコスト高の要因となっている。 【精密機器】